

# WE LOVE ジモスポ

県内大学から7人

Jリーグの30周年記念シーズンが開幕した。カタールワールドカップ（W杯）でサッカー界が盛り上がった昨年、県内の大学で活躍する計7選手が新たにJリーガーの仲間入りを決めた。中でも、中京

大の新入選手小酒井新大選手(21)と名古屋学院大の近藤慶一選手(20)は、ともに3年生でJ2チームへの入団を勝ち取った。2人の有望株に自身の強みや将来の目標を聞いた。(古畑真真)

## 小酒井新大選手(中京大3年)

「今までのチームは来てよかったと思う」。二〇二四年にJ2大分トリニータへ入団する小酒井選手は大学選手時、サッカー強豪校を選ぶつもりはほとんどなかったという。その気持ちとは裏腹に、熱いオファーを出し続けたのが中京大だった。

小酒井選手は滋賀県守山市出身。草津東高時代に、県代表として全国高校選手権に出場した実力の持ち主だが、「自分はプロになれるレベルにはない。大学では楽しんで続けてみよう」と思っていた。

それでも、足しげく小酒井選手の元に通う中京大スカウトの熱意に押され、東海地方の名門へ。入部後は本気でサッカーに向き合い、一年生からトップチームに名を運んだ。主にミッド

フィールダーとしてプレーし、決定機をつくり出すバンスに加え、入学後に陸上部との合同練習で培った瞬発力を武器に活躍。昨年は全日本大学選抜にも選ばれた。真剣にサッカーを続ける選手を止むことがプロへの道を開いた小酒井選手。「家族や周囲への感謝をブレイで表現する」と意気込んだ。名古屋学院大初のプロ入り名手として活躍するは二四

年、今季からJ2に昇格したい名古屋FCへ入団する。ポジションはフォワード(FW)で、身長一八二センチの体格を生かしてボールをキープし、前線で攻撃の起

# J舞台さらなる高みへ

## 近藤慶一選手(名古屋学院大3年)



選手との近き魅力  
東海学生サッカーリーグを運営する「東海学生サッカー連盟」(名古屋市中区)は、実は記者(心)も学生時代に幹事として活動していた。今の学生幹事長を務める近藤慶一選手(20)は、愛知教育大四年生で、現在の活動や大学サッカーの魅力について話した。

東海学生サッカー連盟  
学生幹事長・大桑さんに聞く

「選手との近き」ですね。関東などでは大きなスタジアムで試合することが多いが、東海の会場は大学グラウンドなどが主流。愛知県だけでも七人のJリーグチームへの入団が決まるなど、レベルの高いプレーが身近で見られるので、ゼロ一度会場に足を運んでみてほしいです。